

# 熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年5月26日掲載

1年2組 橋柿 鳴海

僕は、4月10日の熊本の若者コーナーの記事を読んで、1人の言葉が誰かを救うのだなと思いました。なぜそう思ったのかというと、この記事を書いた福本さんは、イチローさんの「壁というのは、できる人にしかやっこない。こえられる人にしかやっこない。だから壁があるときはチャンスだ」という言葉に背中を押されて諦めず頑張ったということが書いてあったからです。

たとえ頑張って最後に上手いかなくても、諦めず何度でも挑戦していくことも時には大切なのだと思いました。このことから、人は、人から支えてもらっているし、自分が支えてあげることもできると感じました。

また、僕は、このイチローさんの言葉には色々な意味や力があると思いました。人の心を動かす力、助けようとする力、誰かにそっと寄り添ってあげる力、誰かを応援する力、このような意味を持たせることのできる言葉を僕はすごいと思いました。

また、今現在日本のどこかでもしかしたら僕の身近に悲しんでいる人がいるかもしれません。だからこの言葉というものを使って助け合い、協力して支え合うことを忘れずに生きていきたいと強く思いました。